

Go for it !!

豊中市立第五中学校
第62期
第3学年通信第27号
2015年11月20日

～最終章～

男女共生教育

少し前のことになりますが、10月20日（火）の5・6限に豊中市保健所の講師の方に来校して頂き、「男女共生教育」の聞き取り学習を行いました。「男女共生教育」は、1年生の「誕生学」から始まり、これで3年目になります。これから大人になっていく中で考えてほしいことや、感染症などについて知っておかなくてはならないことなどについて話を聞きました。一部の感想を紹介します。

【避妊について】

避妊をしても、15%は妊娠してしまうことを始めて知り、責任が取れる、赤ちゃんを育てられる年齢になるまでは、軽い気持ちでしないほうがいいと思った。

望まない妊娠をしないためにも、パートナーを大切にし、よく考えて行動しなければならなかった。何かあったらすぐに検査した方がいいと思った。

避妊をすることは、必要なことだと思った。

避妊の方法がたくさんあることを知ることが出来、毎朝体温を測って予防する方法や、ピルなどの薬があることは知りませんでした。その3つがどのくらい避妊できるのかを避妊率という数で具体的に見ることができてとてもわかりやすかったです。

一番印象に残ったのは、10代で妊娠をしてしまっても、「産む」か「人工的に産まないようにする」かどちらかの選択しかなく、実際に「産む」という選択をした人が大阪府でもたくさんいる。ということです。休憩時間に赤ちゃんの人形を抱かせてもらいましたが、思ったよりも重かったし、子育てをするのは大変だと思いました。避妊の方法は、たくさんあると聞いたけど、避妊をしても妊娠してしまう可能性が8%～25%もあると聞いて驚きました。

【性感染症について】

性感染症の水の実験では、誰かが感染していると連鎖のようにつつていくということがとてもよくわかりました。感染症にかかってしまった人と直接関わりがなくても、自分が感染する可能性があることに驚きました。つつていても自覚がほとんどなく、ひどくなってしまう知り、とても怖くなりました。初めて付き合った人が病気を持っているかも知れないから気をつけたい。

こういうことは、知る機会がないので、貴重な経験ができてよかったです。

性感染症は今までエイズなどの名前は、聞いたことがあったけれど、あんなにたくさん種類があるとは知りませんでした。体液がどういうものかもあまり詳しく知らなかったし、性感染症の感染の仕方でも全然知らなかったので、今日はすごく勉強になりました。これからの自分の生活にかかわってくるかもしれないことなので、チャン市しっかりと受け止めていかなければいけないことだと思いました。

～最近の62期生保護者の皆様へ～

12/10(木)の午後到人権フェスタひまわりがあります。(3年生の発表時間は14時過ぎ頃を予定)そこでは毎年、教科の内容以外に人として大事にして生きていって欲しいこと、総合の時間に学習してきたことを発表します。3年生は「62期宣言」と題しまして、この3年間を振り返り、自分達が大切にしてきたこと、大事な言葉、気持ち、仲間への思いそして、後輩へ引き継いで欲しいメッセージなどを宣言文にまとめ、学年全員で群読形式で発表します。その言葉の準備を委員会が中心になって、HRでみんなに呼びかけ、文章作りに励んでいます。どんな思いの詰まった発表になるのか、3年間の集大成となる姿が見られると思いますので、お時間のある方は是非当日足を運んで下さい。

三者懇談がすすんでいます。懇談を終えて、ますますやる気スイッチオンになった子は万歳なのですが、希望の進路が難しいという話を受けて落ち込んで不安定になっている子、親子で喧嘩が始まってしまう御家庭、何から手をつけていいのかわからなくなってしまい混乱している子、開き直っている子?など個々に様子は違うもののそれぞれに大きな不安を抱えている様子が伺えます。そんな不安の中でも、できることから、と昼休みにも勉強をしている子の姿がたくさん見られるようになってきました。進路は不安と戦いながらも悩みぬいて、自分で納得のいく進路を決定していくしかありません。保護者の皆様は責めるのではなくとにかく本人とたくさんお話をし、気持ちを聞いて、おいしいご飯を作ってしっかり支えてあげて下さい。本人の行きたい進路に向かわせてあげられるように。